



<Press Release>

2023年11月28日

※本プレスリリースは、現地時間2023年11月27日に米国で発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

Amazon の Project Kuiper と NTT、スカパー J S A T、戦略的協業に合意 高度な衛星ブロードバンドサービスを日本で提供

～ 日本のお客さまに柔軟性、レジリエンス、可用性に優れたサービスを提供 ～

アジア太平洋地域で初の戦略的協業を発表

日本電信電話株式会社(以下、NTT)、株式会社 NTT ドコモ(以下、NTT ドコモ)、NTT コミュニケーションズ株式会社(以下、NTT Com)、スカパーJSAT株式会社(以下、スカパーJSAT)は、本日、Amazon.com, Inc.(以下、Amazon)が提供する低軌道衛星ブロードバンドネットワーク「Project Kuiper(プロジェクトカイパー)」(以下、Kuiper)との戦略的協業に合意しました。この協業により、高い信頼性と広範囲のカバーエリアを実現する、高度な衛星ブロードバンドネットワークを日本のお客さまに提供し、通信の可用性とレジリエンス強化に取り組めます。

今回の協業の一環として、NTT とスカパーJSATは Kuiper を日本の企業や政府機関・自治体に対して提供していきます。また、NTT グループは Kuiper を自社およびグループ会社においても活用します。各社は、Kuiper を活かして、レジリエンスと冗長性を兼ね備えた通信ネットワークを構築するための選択肢をお客さまに提供する計画です。

一例として、NTT ドコモは、Kuiper を利用することで、山間部や島しょ部などを含めた、これまでサービス提供が難しかった地域で自社のコアネットワークと接続し、提供エリアのさらなる拡大が可能となります。

また、企業や政府機関・自治体のお客さまは Kuiper を活用することで、これまでは通信環境の確保が難しかったエリアにおいて、一次産業における IoT 活用、建設機械の遠隔操作等の高度なソリューションの導入が可能になります。加えて、お客さまは Kuiper を利用して AWS のクラウドサービスにアクセスし、AI や機械学習などの最先端のテクノロジーを利用できるようになります。

さらに、NTT とスカパーJSAT、Kuiper は、地球と宇宙の間のシームレスな通信サービスに関する幅広い協業を模索し、日本のビジネスイノベーションを支援していきます。各社の研究開発や技術力、サービスやアセットを活用し、お客さまの新たなサービス創出を支援することで、ヘルスケア、金融サービス、エンターテインメントなど多様な業界のさらなる発展をめざします。

NTT 代表取締役副社長 川添 雄彦氏は、次のように述べています。「社会が抱える様々な課題を解決し、持続可能な経済・社会活動を確立していくためには、ICT インフラの高度化が今後より一層重要になってきます。Kuiper との連携によりイノベーションを加速し、NTT の IOWN 技術をはじめとした各社の技術・リソースを結集することで、さらなる価値が提供されていく未来にとっても期待しております」

NTT ドコモ 代表取締役副社長 田村 穂積氏は、次のように述べています。「NTT ドコモは、お客さまを第一に考え、最適なサービスと最高のカスタマーサポートの提供によってお客さまにご満足いただくことを信条としており、Kuiper とその想いを共有しています。NTT ドコモは、日本においてこれまでもロバストな通信サービスを提供していますが、Kuiper によって、お客さまのイノベーションを推進するためのより多くの選択肢を提供し、お客さまがいつでもどこでも好きな場所で通信できるようにすることで、NTT ドコモのお客さまにさらにご満足いただけることを期待しています」



スカパーJSAT 代表取締役 執行役員副社長 福岡 徹氏は、次のように述べています。「日本にはイノベーションの長い歴史があり、インターネット接続に対する飽くなき需要があります。スカパーJSATとNTTの既存のパートナーシップは、日本のビジネスに創造と成長の機会をもたらしてきました。Kuiperが当社のサービスラインナップに加わることは、日本におけるビジネスの革新と成長を一層加速させるものと期待しています」

Project Kuiper 責任者兼テクノロジー担当バイスプレジデントであるラジーヴ・バディヤル(Rajeev Badyal)は、次のように述べています。「NTT、スカパーJSAT、Kuiper、そしてNTTのグループ各社は、どのような状況下でもお客さまにおける通信の接続性を維持し、場所を問わずデータを利用できるようにすることで、お客さまの継続的なイノベーションを支援するというミッションを共有しています。NTTは日本で信頼される通信サービスプロバイダーであり、安全で信頼できる低軌道衛星ブロードバンドサービスを日本国内でも提供するために準備を進める Kuiper にとって、理想的なパートナーです」

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 代表執行役員社長 長崎 忠雄は、次のように述べています。「AWSとNTTグループは、お客さまのためにイノベーションを推進してきた実績があります。今回、Kuiperでさらに、その可能性を広げることができることを嬉しく思います。Kuiperのサービスにより、お客さまは離れた場所からでも世界をリードするAWSクラウドに接続し、そのセキュリティとレジリエンス、柔軟性を活用して、事業を変革する新たな選択肢を提供します」

Kuiperは先ごろ、試作衛星のテストミッションにおいて100%の成功率を達成し、衛星とネットワークを構成する主要技術が有効であることを検証しました。2024年下半期より、一部のお客さまやパートナーを対象にベータテスト版サービスの提供を開始する予定です。NTT、スカパーJSATは今回の協業の一環として、この試験に参加する予定です。

Project Kuiperの詳細については、<http://amazon.com/projectkuiperenterprise>をご覧ください。

Amazon について

Amazonは4つの理念を指針としています。お客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。Amazonは、地球上で最もお客様を大切にしている企業、そして地球上で最高の雇用主となり、地球上で最も安全な職場を提供することを目指しています。カスタマーレビュー、1-Click注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazonプライム、フルフィルメント by Amazon (FBA)、アマゾン ウェブ サービス (AWS)、Kindleダイレクト・パブリッシング、Kindle、Career Choice、Fireタブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa、Just Walk Out technology、Amazon Studios、気候変動対策に関する誓約(The Climate Pledge)などは、Amazonが先駆けて提供している商品やサービス、取り組みです。Amazonについて詳しくはAmazon Newsroom (<http://amazon-press.jp>) および About Amazon (<http://www.aboutamazon.jp>) から。

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

アマゾンジャパン合同会社
パブリック・リレーションズ本部

Tel: 03-6367-4117

E-mail: press@amazon.co.jp

ウェーバー・シャンドウィック

Tel: 090-9006-6274(辻)、090-3060-1215(大崎)

E-mail: amazondevice@webershandwick.com

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
広報部 awsjp-pr@amazon.com

株式会社プラップジャパン

担当: 080-6656-1591(原口)、080-6859-3639(中根)

Email: aws_pr@prap.co.jp



日本電信電話株式会社 広報部門
ntt-pr@ntt.com

株式会社 NTT ドコモ 広報担当
dcmpr@nttdocomo.com

NTT コミュニケーションズ株式会社 経営企画部 広報室
pr-cp@ntt.com

スカパー J S A T 株式会社 広報・IR 部
pr@sptvjsat.com